

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	住民間の意思疎通が促進され、村落開発により住民の生活環境が改善される。 ＜達成度＞コミュニティセンターがロータ村(人口 7,325 人)、ゴパルプル村(人口 6,200 人) 2ヶ村に完成し村人の誇りになっている。ローカル政府もセンター周辺に高等学校の建設、道路の舗装工事等を積極的に進めている。コミュニティセミナーを実施した後は、地域の問題解決意識が高まり、カースト間の交流が自然におこなわれようになった。農業研修で種子の選別、堆肥作りなどを指導したことで、農民は良い土壌づくりや家庭菜園に興味を持ちはじめ、野菜栽培が普及、収入が向上した。収入向上トレーニングによりローンの組み方を学ぶことで小さな貯蓄でもビジネスが可能になり、収入も得られるようになった。幼児教育の先生のトレーニングでは、幼児の発達に応じた教育指導で先生のキャパシティが増し、児童と先生の信頼構築につながり、入学児童が増加した。
(2) 事業内容	●コミュニティセンターの建設 ロータ村、ゴパルプル村の2ヶ村にコミュニティセンターを建設した。久保田啓二建築専門家を6月22日から7月2日まで現派へ遣した。センターではすでに子供の教育や女性の洋裁訓練、各種会議が毎日行われ、村人に大変喜ばれている。ローカル政府もセンター周辺の道路を舗装(RoutaからBarukuruma, Chabarukurumaまで)、電気の使用も可能になった。 ●コミュニティ・セミナーの開催 ① <u>モビリゼーションセミナー</u> ファシリテーターMr. Peter Lasradoにより、2014年5月にセミナーを実施した。プロジェクトの内容、目的、効果、コミュニティセンターの利用方法、維持管理方法、事業に対する期待などを住民と話し合った。これにより住民による協力体制が築かれた。参加の合計：155人。 ② <u>コミュニティ開発セミナー</u> 佐藤静代専門家により、2014年6月と2015年2月に実施。コミュニティの問題を理解するため、農業、工業、商業、居住環境、地域の組織、地域の歴史、教育、医療、家庭の9つの分野について住民グループを分けて問題点と解決策を話し合った。これにより住民の希望が明確になった。参加の合計：337人。 ③ <u>リーダーシップセミナー</u> ウェインエルスワース専門家より、2014年10月と2015年2月に実施した。女性自助グループ、農民グループ、青年グループ、幼児教育者等、各組織のリーダーの役割、資質を話し合った。これによりグループのメンバーは組織のリーダーとして積極的に行動するようになった。参加の合計：592人 ● 能力向上トレーニング及び啓蒙活動 ①<u>女性の自助グループ(Self Help Group) の経営研修</u> 講師 Ms. Neel Prabhaにより2014年8月28日～30日に実施した。様々なゲーム形式で、住民同士の繋がりやSHGの概念と重要性、利益性、成功と失敗の原因について説明した。参加の合計：39グループ(146人)。 ②<u>女性の収入向上研修</u> 講師 Mr. Bharat DBMurmuにより、2015年3月8日に研修を実施した。その後ヤギの販売、商店の経営、野菜販売などの事業がスタートした。参加の合計：25グループ(100人)が参加した。

	③有機農業と水耕栽培研修 伊澤正雄農業専門家により、2014 年 10 月に 7 回実施した。POT 式水耕栽培を紹介すると同時に、牛糞を使った効果的な堆肥の作り方を指導した。野菜栽培に利用できる良い土が出来上がった。現地スタッフも農民へ指導ができるよう、現地スタッフへのトレーニングも行われた。参加者の合計：354 人。 <u>現地農業専門家による有機農業トレーニング</u> 農業講師 Mr. Kiran 氏により、2015 年 2 月 15 日～19 日まで実施した。土壌テストを通してどの穀物が地域でよく育つか、また種まきの方法（散播から筋播）を指導した。参加者の合計：297 人。 ④青少年及び女性のための職業技術訓練 2015 年 3 月に 7 人の訓練生が 2 年間の全課程を終了した。コルカタ州の訓練学校で (St. Peter's Vocational Training) 自動車・自転車修理、コンピューター、電気系統の中から訓練生が技術を選択し、技術訓練を受けた。 <u>女性のための洋裁訓練</u> 村から女性が出るのができないため、ゴパルプル村、ロータ村で 2 名の先生が、28 名の生徒を対象に指導した。 ⑤幼児教育教師を対象とした研修 講師 Dr. Aditya Nath により、2015 年 1 月 15 日～17 日まで実施した。子供の心身の重要性、効果的な指導計画作り、子どもの目線に立った愛情ある関わりが子どもの発達の大きく影響することを指導した。遊びや、数、動物、果物の図を使ったゲームの有効性などを指導。その結果、先生の指導力が向上し、子どもの参加率が向上した。参加者の合計：10 人。 ⑥演劇による啓蒙活動を行うための研修 講師 Anand 神父、Mr. Vivekanand Brahmachary により、2014 年 12 月 3 日～10 日までの 7 日間 10 人に演劇指導が行われた。発生練習、パントマイムにより表現力や創造性を高める訓練を行なった。その後、村で観客を動員し、小規模ビジネスの回転資金の方法をテーマに講演を行ない、終わった後に解決策を話し合った。参加者の合計：10 人。
(3) 達成された成果	●コミュニティセンターの建設 成果 地域住民は 2 カ村に建設されたセンターを誇りにしている。2 期目の業者を Mr. Navin Mallick 氏に変更したことでより質の高いセンターが完成した。ロータ村のセンターでは電気も使用可能となった。 指標 センターの完成は 2015 年 2 月でその後、2 ヶ月間の平均が利用者は 2,200 人であった。(現地スタッフの記録を参考)。女性たちは『村の会議』に積極的に参加し、意見を言えるようになった。さらにカースト間の差別意識を無くし、平等な態度で住民同士が接触しようとする動きが現れてきた。 ●コミュニティ・セミナーの開催 成果 モビリゼーションセミナー、コミュニティー開発セミナー、リーダーシップセミナーを実施した。これによって事業への理解が深まり、参加者はコミュニティセンター・セミナーの必要性和その効果を理解した。 指標 セミナー全体で 1,084 人が参加した、その後アニメーターのインタビュー

一とモニタリングを実施した結果、70%人の参加者がコミュニティセンター・セミナーの重要性を理解し、そのうち 20%の参加者はリーダーシップを発揮している。

● 能力向上トレーニング及び啓蒙活動

①女性の自助グループ (Self Help Group) 経営研修

成果 各種技術研修を通して具体的に活動が開始され、収入向上及び生活改善がなされると同時に農村の人材開発に寄与した。以前は領主が穀物を給料代わりに支払っていたが、住民は正当な給料を要求し始め、領主は働きに応じて給与を支払うようになった。女性は 8 時から 12 時までの 4 時間で、100 ルピー (190 円) の日当を得るが、それ以下の場合には公平な給料を要求するようになった。ちなみに、男性の日当は 8 時間で 250 ルピー (475 円)。

指標 41 グループが銀行口座を開設し、その内 15 グループ (22 名) が新しく収益を上げる事業を始めた。村には食料、衣類、靴、肥料、種、薬などを扱う店が無いとため、回転資金を使って小さなキオスク (店) を開くなど、実際に店が運営されている。

②女性の収入向上研修

成果 女性グループは、マイクロファイナンスの研修を受けた後に、月に 2 回定期的に集まって小規模のビジネスをスタートするために、各自が 20 ルピー (38 円) 貯金をするようになった。そのほか、大きなビジネスを目指すメンバーでは 50 ルピー (95 円) 貯蓄する人も出てきた。

指標 キオスク (商店)、野菜販売などで女性の月間収入が 2,500 ～3,500 ルピー (4,750～6,650 円) から、3,600～5,500 ルピー (6,840～10,450 円) に向上した。

③有機農業と水耕栽培研修

成果 伊澤氏が教えたコンポストについて 80%の農民が理解し、自分たちでコンポストを作った結果、土壌が柔らかくなった。

指標 農薬研修から農薬使用が 40%減少し、土地改善により生産性が 10%向上した。農家の年間平均年収は、平均 15,000～20,000 ルピー (28,500～38,000 円) から 25,000～35,000 ルピー (47,500～66,500 円) に向上した。

④青少年及び女性のための技術訓練

成果 2015 年にコルカタの研修センターで学びを終えた 7 人の内、一人 (Mr. Sowrav Kumar) は、インターネットカフェを開店し、コンピューターの事業を始めた。3 人 (Mr. Sanjay Kumar, Mr. Sanjeev Kumar, Mr. Bablu Kumar) は、マハラシュトラ州で電気関係の仕事をしている。他の 3 人 (Mr. Suraj Jha, Mr. Ramkrishna Kumar, Mr. Santosh Kumar) はバンガロールでモーターバイクの仕事をしている。村に帰宅する時には、連絡を取り合い情報交換を行い、将来は村で技術指導できるよう経験を積んでいる。

洋裁クラスは 2 ヶ村で合計 28 人 (13+15) が現在もユニホームやブラウスなどを作り方の訓練を受けている。生徒は自分自身のミシンを持っていないが、トレーニングが終了したらローンで買うことができる。1 台 5,600 ルピー (10,640 円) である。

指標 7 人はそれぞれ就業し、彼らの平均収入は 9,850 ルピー/月 (18,700 円) である。

⑤幼児教育教師を対象とした研修

	成果 2ヶ村で98名の子供たちが学び、小学校に行く準備をしている。教師の指導力向上により、子供たちの能力もアップし、この幼稚園を卒業した園児は、小学校の4年生よりも読み書きができることが証明された。 指標 1月15日～17日の三日間、幼稚園教諭10人が参加した。成果を図るため個人へのインタビューを行ったところ、教諭達は指導力の向上を実感していた。それに伴い、より子供の参加率も上がった。 ⑥演劇による啓蒙活動を行うための研修 成果 訓練生は、演劇をするための訓練として、恐怖、笑い、怒り、悲しみ、願望、失望、アドベンチャー、平和、愛などの感情表現を学び、表現力を身につけた。 指標 10人が7日の演劇の訓練を受け、実際にロータ村とゴパルプル村で回転資金の運用方法を98人の前で公演し、解決策を村人と話し合った。
(4) 持続発展性	2年目にして、ローカルスタッフに大きな変化が見られるようになった。これまででは何かを質問すると、同じ答えが全員から返ってきたが、最近では他の人とは異なる自分自身の意見を持つようになり、意見に自信を持って発言できるようになった。そして、創造性と積極性、責任感が身に付いてきた。 マイクロファイナンスは、始めは小さな貯金額(30ルピー/月)(57円/月)から始まったが、今ではビジネスを拡大するために(50ルピー/月)(95円/月)を貯蓄するようになった。女性が村の課題を話し合い、解決するために活動できるまでになった。 村人はセンター建設に自分たちの土地を無償で提供し、村の発展に役立てようとしている。 会議場所ができたことで、皆が一致団結することができるようになった。このプロジェクトによりビハールという地域の課題を多く抱える難しい場所で、カーストの壁も徐々に乗り越えられる希望も見え始めた。希望はビハールでは最も大きな持続発展性につながると考えられる。